

令和5年度 事後評価シート

施策	10 子どもたちの可能性を伸ばす多様な教育の提供
K G I	①将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 小学校 【基準値】82.7%（令和4年）【目標値】83% ②将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 中学校 【基準値】70.3%（令和4年）【目標値】71% ③受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと感じる児童生徒の割合 小学校 【基準値】80.4%（令和4年）【目標値】83% ④受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと感じる児童生徒の割合 中学校 【基準値】75.2%（令和4年）【目標値】79% ⑤県立高校における夢や目標を持っている生徒の割合 【基準値】81.9%（令和4年）【目標値】84% ⑥県立高校における生徒の教育内容満足度 【基準値】84.7%（令和4年）【目標値】87%

【細施策シート】										担当部局		教育委員会				
細 施 策		10-3	夢を実現する学力・技術力の保障								施策KGI		⑤・⑥			
K G I		各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った生徒の割合														
		KGI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		時点・期間		時点・期間	R 5年度		時点・期間	R 6年度		時点・期間	R 7年度		時点・期間	R 8年度		
		現状値	84.7	%	目標値	84.7 %		目標値	87 %		目標値	89 %		目標値	91 %	
					実績値	84.7 %		実績値	%		実績値	%		実績値	%	
					達成率	100.00 %		達成率	%		達成率	%		達成率	%	
					判定	達成		判定			判定			判定		
5 年 度	要因分析 【必須】		ソーシャルチャレンジ for High School事業での「えひめスーパーハイスクールコンソーシアム」において、生徒に発表機会を多く取り入れたことで、主体的・対話的で深い学びの充実が図られ、目標値より高くなっている。													
	改善の方向性 【必須】		課題研究の成果発表の機会を増やすことで、実績値の更なる向上が考えられることから、各事業での発表機会を多く取り入れることを検討するとともに、各校において校内での発表の機会を多く計画できるよう検討する。													